

各自自治体、ウクライナの力に

避難民支援の連携強化

県政報告

立憲民主党・
民権クラブ 県議会議員 きしべ 都

神奈川県は県内在住のナ避難民の受入に関するウクライナ人等からの県支援チームを設置し、への避難受入れ及び生活チームで課題解決に取り組むことにしました。

組むことにしました。

横浜市は「オール横浜

のため、「ウクライナ避難民支援相談窓口」を横浜駅西口の多言語支援センターかながわ内に設置しました。また、実務担当者レベルの「ウクライ

県では神奈川フィルハーモニー管弦楽団の演奏によるチャリティー・コンサートを5月8日に

支援パッケージ」を発表し、避難民等支援対策

チームが在日ウクライナ大使館等と連携し、市民・企業・関係機関等の

協力を得て、滞在ホテルの提供や生活スタート支

援、医療サービスなど生活に係る費用を支給し、

住居・家具・家電など、避難民の皆さまの生活を

支えることとしました。

また、4月中に横浜国際協力センターで避難民の方々が母国語で交流・情報交換し、安心感を得られる場の提供や企業からの寄付やボランティアの方々からの申し出をつなぐ場の提供、文化交流の場としてのウクライナ・カフェの開設を予定しています。

立憲民主党として全国各地での募金活動で国民の皆さまからお預かりし、国連UNHCR協会にお届けした募金は、合わせて2139万5538円になりました。4月13日に、泉健太代表が国連UNHCR協会の川合雅幸事務局長と会談し、贈呈しました。



みなさまからのご意見、ご要望をお待ちしています
きしべ都政務活動事務所
南区通町2-25-3 千々輪ビル1階
☎045-341-3385
<http://kishibe-miyako.com/>

また、4月中に横浜国際協力センターで避難民の方々が母国語で交流・情報交換し、安心感を得られる場の提供や企業からの寄付やボランティアの方々からの申し出をつなぐ場の提供、文化交流の場としてのウクライナ・カフェの開設を予定しています。

また、4月中に横浜国際協力センターで避難民の方々が母国語で交流・情報交換し、安心感を得られる場の提供や企業からの寄付やボランティアの方々からの申し出をつなぐ場の提供、文化交流の場としてのウクライナ・カフェの開設を予定しています。